

2017年度事業報告

1. 公益目的事業

(1) 国際相互理解のための体験活動及び普及啓発事業

■国際理解講座 Global Understanding

日本の歴史や現状を学び、国際理解を深め、議論できる力を育む。沖縄フィールドワーク実施のための事前学習を行った。

対象：主に大学生、大学院生、青年

■沖縄フィールドワーク

世界の中、とくにアジアの中の日本を知るための体験型学習を実施する。講師に高里鈴代さん（「強姦救援センター・沖縄 REICO」代表など）をお招きし、沖縄戦の歴史と米軍基地問題について各地を訪れて学んだ。

人数：学生11名、ガイド2名、講師3名、スタッフ1名

期間：5月1日から5月5日4泊5日

日程：

	5月1日	5月2日	5月3日	5月4日	5月5日
午前	羽田空港～那覇空港	南部戦跡見学	辺野古で抗議船に搭乗	本部港～伊江島へ渡航	伊江島～本部港へ渡航
午後	普天間基地展望、高里さん講演	北谷アメリカンビレッジ訪問、嘉手納基地展望、読谷村訪問	古宇利島にて海水浴	伊江島めぐり、反戦平和資料館訪問など	国際通りにて自由時間、那覇空港～羽田空港

■中国延辺大学大学生訪日研修プログラム【新規】

「日本」に興味関心をもっている延辺大学の大学生を日本へ招き、浴衣や茶道などの文化体験、川崎での多文化共生学習、三菱東京UFJ銀行の企業訪問などの研修プログラムを行った。

友愛学舎生と朝の会で交流を深め、舎生は歓送迎会にも出席した。

対象：延辺大学学生6名

期間：7月9日から16日7泊8日

日程：

	2月7日	2月8日	2月9日	2月10日	2月11日	2月11日	2月11日
午前	成田空港 ～奉仕園 移動	勉強会:研修 テーマにつ いて(古屋憲 章氏)	川崎訪問、 青丘社ふれ あい館	三菱東京 UFJ 銀行見 学	江戸博物 館見学	早稲田大学 キャンパス ツアー	研修発 表会
午後	オリエン テーショ ン	講演:グロー バル人材を 目指して(定 森幸生氏)、 歓迎夕食会	横浜観光	講演：在日 朝鮮族の現 状（笠井信 幸氏)	中間振り 返り、茶道 体験	モスフード サービス見 学	送別昼 食会 & 振り返 り

■年中行事を楽しむ会 Feel Japan

留学生が日本の文化や風習を体験し、国際理解を促進するプログラム。友愛活動の一環として、国際学舎に居住する留学生及び早稲田大学留学生等を対象にプログラムを開催した。

- 6月16日 歌舞伎鑑賞 50名
- 7月 七夕のロビー展示
- 7月29日 隅田川花火大会見学 2名
- 11月25日 高尾山紅葉狩り 18名
- 1月28日 お餅つき(早稲田教会と合同)40名
- 3月 ひな祭りロビー展示

■第6回アジア市民社会教育ネットワークCENA夏季学校【共催】

「民族主義、軍国主義、グローバル化を越えた、地域コミュニティを通じたアジアの平和創造」をテーマに、教員によるセッションと学生によるプレゼンテーションを行った。学生は小グループに分かれディスカッションなどのグループワークも行った。また宿舎の地域住民との交流、寺院や博物館などの見学を通じて、アジアの平和創造を学んだ。

人数：大学生・大学院生 41名、教職員 11名

期間：8月3日から8月10日 7泊8日

場所：インドネシア・ジョグジャカルタ

参加組織：恵泉女学園大学、聖心女子大学、韓国の聖公会大学校、韓神大学校、台湾の世新大学、タイのAsian Muslim Action Network、インドネシア・イスラーム大学(U I I)

助成：庭野平和財団

日程：

	8月3日	8月4日	8月5日	8月6日	8月7日	8月8日	8月9日
午前	羽田空港～ ジョグジャ カルタ	UII にて学 長挨拶、基 調講演、教 員講義	教員講義、 学生プレゼ ン1～3	地域のゴミ 拾い、地域 リーダーの 講義	寺院観光	全体振り返 り会、閉会 式	参加国別反 省会
午後	宿舎到着	学生グルー プ作り、キ ャンプファ イアー	学生プレゼ ン4～7、学 生グループ 活動	ゲスト講 義、学生グ ループパフ ォーマンス 発表	マリオボロ 通りで買い 物	博物館見 学、寺院見 学、演劇鑑 賞	寺院見学、 飛行機搭乗

■マイノリティ・ユース・フォーラム【共催】

マイノリティ宣教センター設立後最初のプログラムとして、マイノリティ・ユース・フォーラムを開催した。1903年内国勸業博覧会で起きた人類館事件を学び、生野区と大正区でフィールドワークを行い、在日コリアンと沖縄の移住者の歴史を学んだ。ドイツの教育団体が開発したカード教材について学び、日本版のカード教材の制作を検討している。

日程：9月3日～6日

場所：在日韓国基督教会館(KCC／大阪市生野区)、大正区など

参加者：国内参加者25名、海外参加者5名

日程：

	9月3日	9月4日	9月5日	9月6日
午前		大正区訪問	朝鮮学校、街づくり NPO訪問	全体会、閉会礼拝
午後	開会礼拝、 朝治武さん講演	鶴橋散策、 金歌昊さん講演	ワークショップ1、2	解散

■第4回東アジア次世代リーダーシッププログラムSEAL in 沖縄【共催】

東アジアの課題解決と平和構築のために、「アジア人」の人材育成を目指してプログラムを行った。沖縄の市民の努力から学びながら、宗教者としてできることを模索した。現在、ウェブサイト制作に取り組み、これまでの活動報告とアピールを進めている。

人数：25名 日本側参加者：友愛学舎、日本YMCA同盟、国際基督教大学大学院、沖縄キリスト教学院大学、立正佼成会、庭野平和財団、仏教NGOネットワーク、シャンティ国際ボランティア会、NPO法人東アジア環境情報発信所、劇団石(トル)

韓国側参加者：韓国基督教教会協議会、基督教大韓監理会、韓国基督教長老会総会、韓信大学、円仏教、霊山仏教大学

期間：2月7日～11日4泊5日

日程：

	2月7日	2月8日	2月9日	2月10日	2月11日
午前	那覇空港集合	ガマ訪問、金城実アトリエ訪問	辺野古にて基地建設抗議行動を学ぶ	ワークショップ 各国5大ニュース	ワークショップ、振り返り
午後	県立平和祈念公園訪問	やちむんの里訪問、キムキガンさんトークライブ	嘉手納基地、普天間飛行場展望	ワークショップ 各宗教における平和の解釈	解散

(2) 国際相互理解を基調としたボランティア活動推進事業

■日本語ボランティアの会

「日本語ボランティア養成講座」の修了者がボランティア講師として日本語を必要としている学習者にボランティアで日本語を教える。課外活動、学習者発表会、新年会、研修会など随時行う。会報も年2回発行。

活動日：水曜日：3クラス、金曜日1クラス 年間81日授業日

のべ参加人数：ボランティア2,362名、学習者4,858名

■早稲田ネットワーク外国人無料生活相談会

日本社会で暮らす在日外国人への無料相談窓口を開設することで、行政や教育的な制度活用を支援し、共に生きる社会を身近な形で実現することを目指した。生活・労働・教育の分野で相談スキルを持つ個人が集まり相談業務に当たってきたが、来会者が多くは得られない現状がある。

日時：5月14日、8月13日、11月12日、2018年2月11日の13時～17時

会場：日本キリスト教会館1階早稲田奉仕園活動室

■野宿者支援給食活動@渋谷

給食活動の食事準備、配食のボランティア活動を通して、貧困や生存権の問題を身近に感じた。早稲田教会、東京平和教会、日本福音ルーテル本郷教会、本郷学生センターの有志が参加し、協働プログラムとして実施した。活動実績は5,290食を準備し、2,595人の方にお渡しした。ボランティアは準備に333人、配食に328人が参加した。

保存食は学校の備蓄（聖望学園中学校・高等学校、玉川聖学院中等部・高等部、青山学院女

子短期大学、立教大学)、都の備蓄を分配する一般社団法人食品ロス・リポーンセンター、NPO法人セカンドハーベスト・ジャパンなどの団体のほか、個人でもご支援をいただいている。

(3) 国際相互理解のための語学講座及びその他講座事業

■アジア語学講座

アジア諸地域の言語を学ぶことを通じ、文化や習慣、社会への理解を深めることを目的に、各言語講座を実施した。社会人対象の通学式、通年クラスという形式の見直しを検討する年となった。

前期：受講者数合計 44 名

クラス	入門	初級	中級	上級	合計	
ベンガル語	入門	初級 2	3	中級	4	24
		初級 3	3	上級	3	
ヒンディー語	入門 8	初級 1	4	中級	4	20
		初級 2	4			

後期：受講者数合計 21 名

クラス	入門	初級	中級	上級	合計	
ベンガル語		初級 3	3	中級	5	12
ヒンディー語		初級 1	5			9
		初級 3	4			

講師：ベンガル語：アザド ムンシ、ムンシ スルタナ

ヒンディー語：雪下洋一、白井桂

■日本語ボランティア養成講座

外国人に日本語を教えるノウハウを学ぶ講座。初級Ⅰ、初級Ⅱ、中・上級を1年かけて学ぶ。初級Ⅰ修了後からボランティア活動が開始できるようになる。

講師：数土容子(武蔵大学教員)

クラス：初級Ⅰ 4月開講 全15回

初級Ⅱ 10月開講 全11回

中上級 2月開講 全4回

受講者数：初級Ⅰ12名、初級Ⅱ10名、中上級11名

■Let's 朗読

毎回の講座ではストレッチで体をほぐした後、発声練習で発音や発声をクリアにし、作品に

取り組み、詩や物語を感じながら朗読します。講座最終日にミニ発表会を教室内で開催。

期間：前期 4月～9月全8回

後期 10月～3月全8回

受講者数：前期9名

後期9名

講師：飯島晶子(朗読家)

■水彩画レッスン

日々の暮らしのなかで、旅先でスケッチを楽しむためのレッスン。屋内のほか、都内近郊の街や建物などをスケッチ。3月はスケッチ合宿三島市にて実施。

期間：通年 全10回 受講生16名

講師：森本太郎(美術作家)、岸成行(建築家)、原游(現代美術)、渡邊義孝(建築家)、河原美由紀(画家)、藤原成暁(建築家)

対象：学生、社会人18歳以上

■北田英治の写真講座

くらしの中の身近なものや風景を撮りながら、写真を楽しむための講座。座学では受講生や講師の写真をみる講評会、フィールドワークでは都内近郊の街を歩いて撮影。11月は撮影合宿を益子市にて実施。また、7月と12月に「旅する写真展」(夏・冬・講座修了展)を開催。

期間：通年 全10回 受講生12名

講師：北田英治(写真家)

対象：学生、社会人18歳以上

■スコットホールでゴスペルを歌おう

スコットホールで思い切り声を出し、合唱を楽しんで元気になる！講座。ストレッチ、ボイストレーニングをし、シーズンの課題曲(講師によるオリジナルアレンジ曲)を練習。

講師：藤子(プロシンガー、ボイストレーナー)

対象：学生、社会人

クラス参加者数：

シーズン①	4月開講 全7回	12名
シーズン②	7月開講 全7回	12名
シーズン③	10月開講 全7回	10名
シーズン④	1月開講 全7回	11名

ゴスペル公演：

4月8日	新宿区主催レガスまつり	10名参加
4月13日	Open Voice Day!	23名参加
8月3日	練馬キングス・ガーデン	12名参加
9月20日	フォレスト西早稲田	8名参加
12月14日	クリスマス発表会	9名参加
12月21日	練馬キングス・ガーデン	9名参加

■<まなび舎>STUDY HALL!

単発のイベントを束ねる枠組み。「おもしろい学び」の空間を目指す。ある程度集客を期待できそうな企画について時期を逃さずに実施するプログラム。

第9回 7月13日

認め合い、共にある、豊かな暮らしを続けていくこと～宮嶋信が語る真木共働学舎のこれまでとこれから

スピーカー：宮嶋信(信州共働学舎代表)

進行：中植きさら(ポレポレタイムス社)

参加者：41名

第10回 8月25～26日

オフグリッド(電力自立)でエコ生活～電力を買わない暮らしとは(座学と見学)

スピーカー：湯浅剛(一般財団法人えねこや代表)

参加者：38名

第11回 7月24日

知りたい、ワシントンの中の「日本」～日米外交に多様な声を届けるロビーイング活動の手応え

スピーカー：猿田佐世(新外交イニシアティブ事務局長・弁護士)

主催：SEAL 日本在住組実行委員会 後援：奉仕園

参加者：23名

第12回 9月28日

多文化共生を歩く一大久保(多民族・多文化コミュニティ)フィールドワーク

案内人：山本重幸(共住懇代表)

参加者：21名

第13回 10月13日

若者の生きづらさはどこから来るのか?

スピーカー：土井隆義(筑波大学)

共催：キリスト教学生寮懇談会

参加者：17名

第14回 10月20～25日

展示「桂川潤の装丁 2010-2017 <予感>を包み込む」 来場者 200名

10月21日

トーク「編集者×装丁者 直木賞・佐藤正午『月の満ち欠け』を担当して」

スピーカー：桂川潤(装丁家)、坂本政謙(岩波書店編集部)

参加者：70名

<p>第15回 12月15日 緊急企画 ロヒンギャ難民はいま スピーカー：下澤 嶽(静岡文化芸術大学教授、ジユマネット共同代表) 後援：シャプラニール 参加者：14名</p>
<p>第16回 1月13日 スイス人留学生が語る 1960年代日本の抵抗、芸術と映画 スピーカー：Zimmermann, Michael Peter(奉仕園留学生寮居住者) 参加者：9名</p>
<p>第17回 2月3日 カレーでアジアを見てみよう～森枝卓士のアジア食文化論 スピーカー：森枝卓士(写真家・大正大学客員教授) 参加者29名</p>
<p>第18回 2月24日 古楽器を知ろう～リュート、ビウエラ レクチャーコンサート 演奏家：水戸茂雄 進行：桂川潤(装丁家) 参加者31名</p>
<p>第19回 3月14日 地図で読み解く TOKYO～都市の変貌 スピーカー：今尾恵介(地図研究家) 進行：桂川潤(装丁家) 参加者22名</p>

**■聖書講座 新しい聖書の学びーいのちをかけてのメッセージー『イエスの譬え話』に聴く
(共催)**

ガリラヤの民衆に視座を置いて、イエスが譬え話を用いて語ったメッセージを読み解く。

開講日：毎月第2火曜、全10回

受講者：のべ27名、平均17名

講師：山口里子(日本フェミニスト神学宣教センター共同ディレクター)

共催：日本クリスチャンアカデミー関東活動センター

(4) 学寮運営事業(友愛学舎・ゲストハウス)

■友愛学舎

舎生数

2017年度は4年生3名(男子1名・女子2名)、3年生3名(男子1名・女子2名)、2年生3名(男子3名)の在寮生に加え、新1年生4名を迎えた。

活動

朝の会 学期期間中の月曜日から金曜日の基本7時から7時30分まで。聖書研究・エレミヤ書及び学生発表等も行った。

舎生会 毎月1回開催、友愛活動・生活について話し合った。

年間活動 4月の活動開始に向け、新入生を含めたオリエンテーションを3月23日から24日まで、山梨・清泉寮にて実施し、寮生活の意義や奉仕園や友愛学舎の歴史を学ぶ機会を持った。卒舎式(3月)などの行事のほか、年中行事を楽しむ会などを担当し引率を行った。また教会はじめ外部団体と連携し海外研修やボランティアの機会を増やしていくようにし、広い視野を持って社会に出て行かれるようサポートをおこなった。

福山裕紀子副牧師(早稲田教会)にカウンセラーとして、古賀博牧師(早稲田教会)、大矢直人牧師(東京平和教会)に聖書研究のほか寮運営全般のアドバイザーとして奉仕いただいた。

■キリスト教学生寮懇談会

都内及び近郊のキリスト教主義による超教派の学生寮のネットワーク。5月23日に山上国際学寮にて会合を開き、寮運営、プログラム等について情報交換をおこなった。6月30日には同寮にて「被爆者の証言に聞く」に参加、また10月13日には初めて共催プログラムで土井隆義さん(筑波大学人文社会系教授)を招き、Study Hall vol.11「若者の生きづらさはどこから来るのか?～つながりを煽られる時代のサバイバル」を開催、スタッフの学びと各寮の連携を深めた。現在、友愛学舎、早大YMCA信愛学舎、山手学舎、山上学寮、東京ティラナスホール、登戸学寮、春風学寮、東大YMCA寮、一橋YMCA寮の9学寮が加盟している。

■ゲストハウス

大学学部生・大学院生・研究者のための寮、7名が在寮。奉仕園プログラムなどへの積極的な参加を促した。

(5) 早稲田大学との協力による学寮運営事業 (国際友愛学舎)

■国際学舎

早稲田大学の外国人留学生・研究員寮。レジデントアシスタント(RA)がRAコミュニティールームに平日の19時から21時まで常駐。入寮時に提出される入居カードのデータベース化を推進した。早大留学センターとの情報共有に努め、留学生が安心して安全な寮生活を送れるよう、近隣にある交換留学生寮(早大寮・西早稲田寮)とも連携を図った。

2017 年度国・地域別居住者数(合計 309 名、40 の国と地域)

中国	60	アメリカ	53	フランス	26	イギリス	24
ドイツ	18	韓国	14	台湾	13	日本	12
オーストラリア	11	オランダ	9	シンガポール	7	カナダ	6
イタリア	5	ベルギー	5	ロシア	5	マレーシア	4
スウェーデン	4	スイス	4	香港	3	ノルウェー	3
スペイン	3	オーストリア	2	ルーマニア	1	モロッコ	1
リトニア	1	デンマーク	1	ドミニカ	1	セルビア	1
トルコ	1	イラン	1	ベラルーシ	1	ブルガリア	1
インド	1	フィリピン	1	アイルランド	1	コロンビア	1
インドネシア	1	フィンランド	1	コロンビア	1	タイ	1

■留学生健康相談室の運営

医師、保健師による個別面談を実施し健康状態の把握に努めた。大学とも連携を取り、緊急時を含めて対応できるような体制をとっており、連絡体制などを随時確認した。

開室時間：毎週火曜日、金曜日 13：00～17：00

第 3 火曜日 16：00-19：00

相談内容：病院の紹介、栄養指導、ケガの応急処置、風邪の初期対応、感染症(インフルエンザ等)についての情報提供、健康状態の把握、既往歴患者へのフォローアップなど。

■FRIDAY・NIGHT

寮生間の親睦をはかるパーティー。入寮の時期となる 4 月及び 9 月に開催した。9 月は Japanese Night として友愛学舎がホストを務めた。

■奉仕園クリスマス会

奉仕園学生寮の寮生を中心に、12 月 9 日に開催した。交流パーティーのほか、グループや個人によるアトラクションを実施した。他の早稲田大学交換留学生寮へも呼びかけ、数名の参加があった。

■第 14 回長野市大岡研修旅行

長野市大岡を訪問し、小学校訪問、農作業体験、ホームステイなどを通じて日本の農村生活を体験。今回にて大岡研修旅行は終了とした。

人数：早稲田大学在籍の外国人留学生 7 名、職員引率 1 名

期間：5 月 26 日～28 日 2 泊 3 日

協力：公益財団法人育てる会大岡ひじり学園、長野市教育委員会

内容：大岡中学校での交流会、農家へのホームステイ、郷土料理実習、農作業体験、陶芸実習、自然散策、歴史的建造物の見学、ほか

■第8回富士山登頂研修旅行

留学生との国際交流と富士山の自然に触れることを目的に、共に山頂をめざした。事前オリエンテーションにて、富士山のことや登山の知識等のレクチャーをおこなった。

人数：留学生7名、RA1名、引率職員2名

期間：7月29日～31日2泊3日(1泊は山小屋)

協力：日本YMCA同盟東山荘、NPOココロとカラダを育てるハッピープロジェクト

■第1回北海道三笠市研修旅行

北海道三笠市を訪問し、小学校訪問、博物館、歴史的建物見学などを通じて日本の歴史、文化、地方自治体の現状などへの理解を深めた。

人数：早稲田大学在籍の外国人留学生10名、RA2名、職員引率2名

期間：11月2日～4日2泊3日

協力：北海道三笠市教育委員会、北海道三笠市役所

	11月2日(木)	11月3日(木)	11月4日(木)
午前	早稲田発	三笠市博物館見学 野外博物館見学 ファミリーランド三笠遊園 BBQ	三笠市道の駅立ち寄り 宝水ワイナリー見学
午後	三笠小学校訪問、給食、児童と交 美瑛町青い池	旧幌内炭鉱施設見学 達布山	さっぽろ羊ヶ丘展望台 札幌時計台 札幌にて解散
夕	懇親会	懇親会	
泊	湯の元温泉旅館	湯の元温泉旅館	

■第12回早稲田大学留学生・冬の富士山を楽しむ研修旅行

早稲田大学留学生が静岡県御殿場市を訪問し、富士山周辺散策を通じ日本の自然に触れ、環境への理解を深めることを目的に実施した。

参加人数：早稲田大学在籍の外国人留学生9名、ハンバット大学インターン生1名、学生スタッフ1名、引率職員1名

期間：2月5日～6日1泊2日

協力：日本YMCA同盟東山荘

内容：富士山麓の散策、富士山周辺の自然学習、郷土料理実習、箱根観光等

■ホームビジット

留学生に東京近郊の一般的な日本人の生活に触れてもらう機会を提供した。留学生を迎えるホストファミリーには奉仕園OB OG、早稲田教会、奉仕園日本語ボランティアの会などにご協力いただいた。

実施期間：前期 6月5日～7月2日

後期 10月23日～12月3日

参加人数：前期 6つのホストファミリーに14名の留学生が訪問

後期 5つのホストファミリーに9名の留学生が訪問

また、ホームビジットの関係を通じてご招待をいただいているクラシックコンサート(4演目)に39名が参加した。

■第2回留学生インスタ写真展

日本に住む海外からの留学生を対象にインスタグラムを使用したWEB写真展を開催。留学生6名の受賞作品を選定し、5月に授賞式を行う。

実施期間：2018年2月1日～3月31日

応募総数 22枚

贈呈式：2018年5月

協賛：公益財団法人高山国際教育財団、万座温泉日進館 万座温泉ホテル

広報企画協力：特定非営利活動法人 J A F S A

2. 収益事業

(1) 駐車場及び貸事務所等の賃貸並びに管理受託事業

■不動産賃貸事業

月極駐車場及び事務所の賃貸、宣教師館・牧師館、教会への施設貸出し。月極駐車場34区画は通年ほぼ満車の契約をいただいた。賃貸事務所は、スコットホール地下トイレ拡張工事に伴い、一部賃貸スペースの変更を行った。早稲田教会及び日本バプテスト同盟東京平和教会と契約更新を行った。

■早大染谷会館管理

早稲田大学染谷国際会館の施設管理及び入居者の各種対応を実施。

(2) 会議施設及びホール施設の貸与事業

■施設の貸与(会議室・ホール)

一般利用のお客様：会議室・ホールは 学習会、語学教室、音楽練習やコンサート、講演会など多岐に渡ってご利用いただいている。長く定期利用している団体には登録をいただき、年間で部屋を確保するようにした。ギャラリーは葬儀や“葬儀勉強会”などのイベント、講堂をお別れの会での使用もいただいた。撮影は 72 件のスチール撮影と 20 件の動画撮影があった。

■施設の改修・修繕

施設、備品の改善を適宜実施した。

- ・スコットホール地下階層改修、リバティホールトイレ改修
- ・セミナーハウス入口に当日予定表ディスプレイ設置
- ・給湯室にドリンクコーナーを設置・ロッカーの整理
- ・YOU-I ホール音響設備更新、ワイヤレスマイク増設

■プログラム(協賛を含む)の開催

- ・スコットホール公開&ガイドツアー(10月31日、約50名参加)や関連企画として写真家桃井一至氏の写真展「VORIES TIME」(来場者600名)、ヴォーリズ記念館館長藪秀実氏によるギャラリートーク「ヴォーリズ建築の楽しみ方」(参加者38名)などを開催した。
- ・チャリティ古本市第20回は5月15日～6月末日に実施し「NPO法人YOU&MEファミリー」に、第21回は10月15日～11月末に実施し「ジュマ・ネット」にそれぞれ売り上げを寄付した。
- ・2018年2月16日東京都都市整備局主催の講演会兼コンサート「歴史建造物で聴く講演とバイオリン演奏」に協賛。講演は都市整備局課長の寺沢智博氏、一粒社ヴォーリズ建築事務所所長の中山睦幸氏、ヴァイオリンコンサートは鷺見恵理子氏。

3. 公益目的事業・収益事業共通業務

■広告・宣伝

ホームページはhttps化しセキュリティを高め、Googleなどの検索エンジンにヒットしやすい対策を取った。また、Study Hallの企画を中心にフェイスブックでイベントを作成し、多

くの人に情報が届くよう努めた。

■事業評価

6月20日及び7月4日に明治大学教授源由理子氏を招いて事業評価の手法を学ぶ。続いて、財団として最終的にめざすものについて、スタッフ間のコンセンサスをまとめた。次年度より事業ごとに具体的な評価に取り組む予定である。

4. 法人総務

■早稲田奉仕園賛助会員

2017年度は個人 130名に加入いただいた。

■広報

奉仕園通信は74号(10月25日)を発行、ホームページの更新及び「奉仕園スタッフのブログ」の掲載を随時おこなった。

■財団会議

①理事会

第1回定時理事会(6月5日)

みなし理事会(6月22日)

臨時理事会(1月25日)

第2回定時理事会(3月15日)

②評議員会

定時評議員会(6月22日)

③常任理事会

第1回常任理事会(5月23日)

第2回常任理事会(7月28日)

第3回常任理事会(10月28日)

第4回常任理事会(11月20日)

第5回常任理事会(3月2日)

④評議員・理事・監事懇談会(11月17日)

■監査

監事監査 5月19日(決算)、11月17日(期中)

監査法人監査 4月3日(実査)、5月18日～19日(決算)、11月14日(期中)

■理事・評議員人事

【理事】6月22日付

重任：奥島孝康、相賀昇、阿部千秋、稲垣隆一、大橋正明、鎌田薫、古賀博、
土屋忍、森田典正

新任：西川嗣夫

退任：吉田博

6月22日付(みなし理事会選任)

理事長：奥島孝康(重任)

常任理事：相賀昇、大橋正明、古賀博(以上重任)

専務理事：阿部千秋(新任)

【評議員】6月22日付

新任：佐藤宏之氏(早稲田大学総務部長)

退任：佐々木裕康

■職員人事

千花子正職員採用(嘱託職員、4月1日付)

保田諭子限定正職員採用(嘱託職員、4月1日付)

阿部千秋正職員退職(6月22日付)

■登記

7月5日 評議員及び理事の変更登記

■行政庁(内閣府)諸届

6月29日 2016年度事業報告等の提出

7月25日 評議員・理事変更届の提出

8月15日 2016年度事業報告等の修正の提出

3月30日 2018年度事業計画書等の提出

■税額控除に係る証明申請

7月26日 税額控除に係る証明申請の提出

8月2日 同上の修正の提出

9月1日 同証明書発行

■諸規程の変更

- ・就業規則第2条、第4条、第9条、第13条の変更(4月1日施行)
- ・退職金規程第4条の変更(4月1日施行)
- ・継続雇用規程第1条、第3条、第9条の変更(4月1日施行)

■奉仕園ホームカミングデー

10月29日に奉仕園OBOG、友愛舎生、スタッフ等役40名が参加して開催、友愛OB野木虔一牧師のメッセージによる礼拝及び奉仕園の現在の活動について紹介をした。その後、友愛学舎OB会が戸山サンライズにおいて開かれ、26名が出席された。

■キリスト教施設長会議

神戸YMCA余島野外活動センターを会場に1月23日から25日開催、阿部千秋専務理事が出席した。

■国際協力NGOセンター(JANIC)公益法人に関する連絡会

定例会を5月25日、9月28日、2月1日の3回奉仕園にて開催、各団体における内閣府の立入検査の状況、税制改正に関する要望、アメリカの非営利セクターの現状ほか財団運営諸般にわたり情報交換を行う。連絡会は現在16団体が加盟。

2017年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成していない。

2018年5月
公益財団法人 早稲田奉仕園